

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	観光ネットワーク推進事業			シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	文化観光	局	観光	部	観光推進 課 評価責任者(課長名)
					北口

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	4	歴史・文化資源を活かしたまちの賑わいの創出	無
	2	事業開始年度	平成 18 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	平成18年度～平成22年度に堺観光の二大戦略拠点である旧市街地と大仙公園周辺において、観光サインを整備。 平成24年度に旧市街地にある阪堺線停留所へ観光サインを設置。 平成26年度にさかい利晶の杜の開館に伴い観光サインの板面を改修。 平成30年度から百舌鳥古墳群周遊路サインの整備を実施。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	本市への来訪者及び市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	堺市内への更なる誘客に向けて、観光客の周遊性を高める観光サインの設置を行うとともに、多言語表示を進めることで外国人観光客の受入体制の充実を図ることを目的とする。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	観光客が市内を容易に周遊できるなど、観光客の満足を得られるような、多言語化表示や見やすさに配慮した観光サインの整備を行う。 既存の観光案内板については、新しい情報への更新に伴う板面改修や清掃などによる維持管理をおこなう。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他() (公社)シルバー人材センターや民間事業者等				

Ⅲ. 投入量

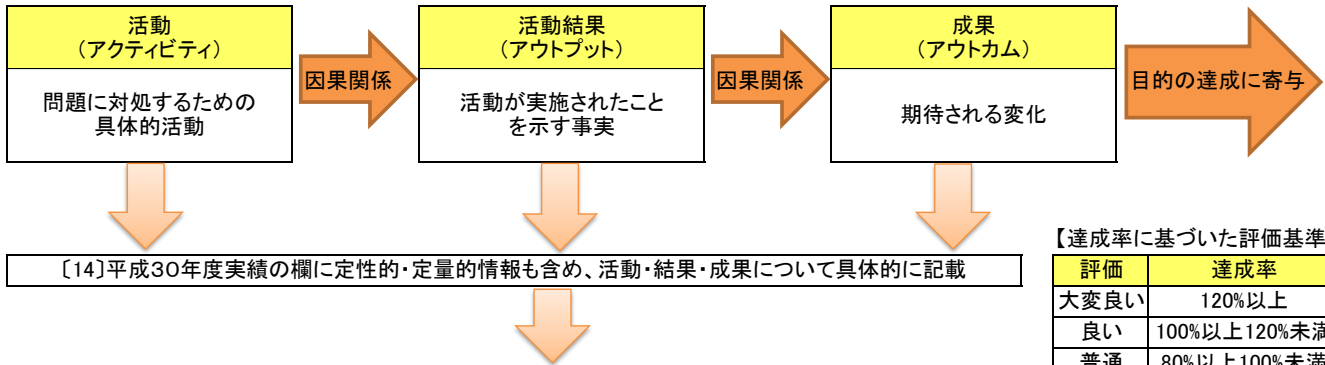
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業費 (a)	千円	2,959	1,884	5,084	31,389	
11 主な事業費内訳	観光サイン設置・多言語化・修繕・維持管理	千円	2,959	1,884	5,084	2,900
	百舌鳥古墳周遊路サイン整備	千円				28,300
		千円				
		千円				
		千円				
財源内訳	国・府支出金	千円				22,935
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円				
その他()	千円					
一般財源	千円	2,959	1,884	5,084	8,454	
12 人件費 (b)	千円	11,800	11,800	11,700	8,525	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	14,759	13,684	16,784	39,914	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	観光ネットワーク推進事業	シート番号	08-08
-------	--------------	-------	-------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	百舌鳥古墳群の世界文化遺産登録を契機として増加が予想される来訪者が迷うことなく快適に周遊できるように仁徳天皇陵古墳エリアを中心に「百舌鳥古墳群周遊路サイン」を18基整備した。また、中百舌鳥駅前ロータリーに観光総合案内板を1基整備した。						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		観光サインの新規設置数および板面改修数	基	目標値	16	30	60	20
				実績値	96	38	39	
				達成率	600%	127%	65%	
	評価	大変良い	大変良い	少し悪い				
	算出方法・設定根拠など		平成28年度より新たに設定					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		観光サインの維持管理数	基	目標値	208	216	245	255
				実績値	216	224	244	
達成率				104%	104%	100%		
評価	良い	良い	良い					
算出方法・設定根拠など		平成28年度より新たに設定						

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
17		令和元年度に控える百舌鳥古墳群の世界遺産登録を契機として訪れる来訪者が迷うことなく快適に周遊できる環境を整えるため百舌鳥古墳群周遊路サインの整備を実施した。また、観光周遊促進に繋がるよう、来訪者の動向を踏まえて観光サインの新設や板面の更新を行った。改修の必要なサイン数が予想を下回ったため達成率が低くなっているが、受入体制の充実への影響はない。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。